

沼田 PA スマートインターチェンジの整備効果について

平成30年3月21日に供用開始しました沼田 PA スマートインターチェンジの完成後1年の利用状況や整備効果についてお知らせします。

1 完成後の1日当たりの平均出入交通量

- ◆ 沼田 PA スマートインターチェンジ(以下「スマートIC」という。)供用開始後の平成30年4月から平成31年3月までの1年間における1日当たりの平均出入交通量は約 2,000 台/日。

2 利便性の向上

- ◆ 高速道路の利便性が向上し、スマートICだけでなく周辺IC(五日市IC、広島西風新都IC、広島IC)も含め、利用者の増加傾向が見られ、高速道路の利用促進に寄与。
- ◆ 高速道路の利便性が向上し、スマートICの平日利用者の約6割、休日利用者の約4割が高速道路の利用頻度が増加したと回答しており、高速道路の利用促進に寄与。
- ◆ 平日のスマートICの利用目的は、通勤、業務での移動といったものが多く、日常的な利便性の向上に寄与。
- ◆ 高速道路の利便性が向上し、平日・休日ともにスマートICの利用者の約7割が20分以上の時間短縮を実感との回答。
- ◆ スマートIC周辺から周辺都市へのアクセス時間が短縮し、地域住民の利便性の向上に寄与。

3 地域の活性化

- ◆ スマートIC周辺の観光施設へのアクセス時間が短縮し、観光振興に寄与。

4 安全・安心の確保

- ◆ 消防車などの出動経路や救急車の搬送経路の選択肢が増加したことにより、消防・救急活動の円滑化に寄与。

5 ひろしま西風新都の都市づくりの推進

- ◆ 地域住民だけでなく、スマートICも位置する「ひろしま西風新都」の居住者からも高評価を得ており、西風新都のさらなる魅力の向上に寄与。

6 今後の利用促進の取組

- ◆ スマートICの接続道路の交差点改良を行い、一般道からのアクセス改善を図り、スマートICの利便性の向上を図る。
- ◆ 周辺の観光施設や企業、また、地域住民等へのPR活動を行い、スマートICの認知度を高め、利便性を実感してもらうことで利用促進を目指す。

沼田PAスマートIC整備効果

令和元年 1 1 月

広島市

沼田PAスマートICの概要

◆ 整備場所

山陽自動車道吹田山口線 沼田PA
(広島市安佐南区伴東五丁目ほか)

◆ 利用可能車種

軽自動車及び普通車(車長6m以下)

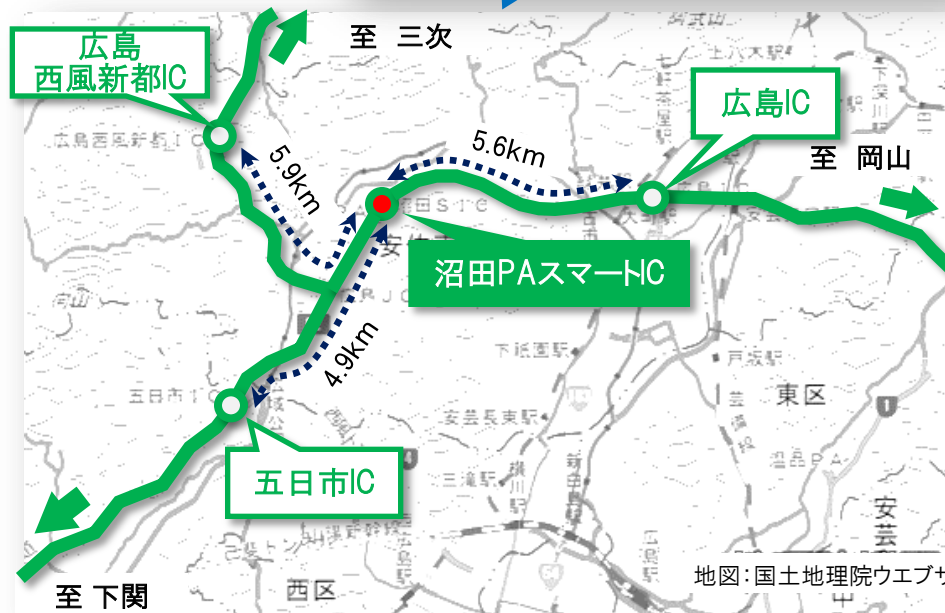
※ ETC車載器搭載の車両に限る

◆ 利用可能時間

24時間

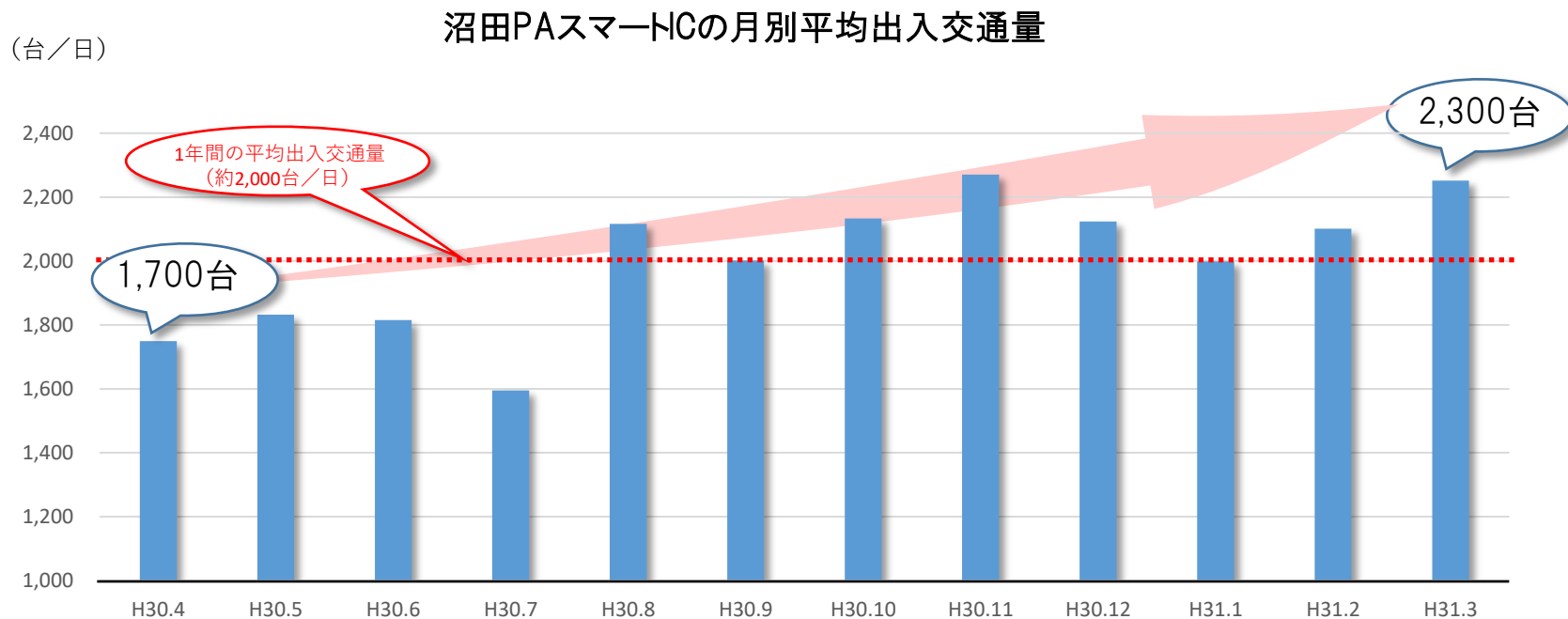
◆ 供用開始日

平成30年3月21日



利用状況

- ◆ 出入交通量は約2,000台／日であり、順調に増加



データ提供元 : NEXCO西日本
期間 : H30.4.1~H31.3.31

整備効果

1 利便性向上

2 地域の活性化

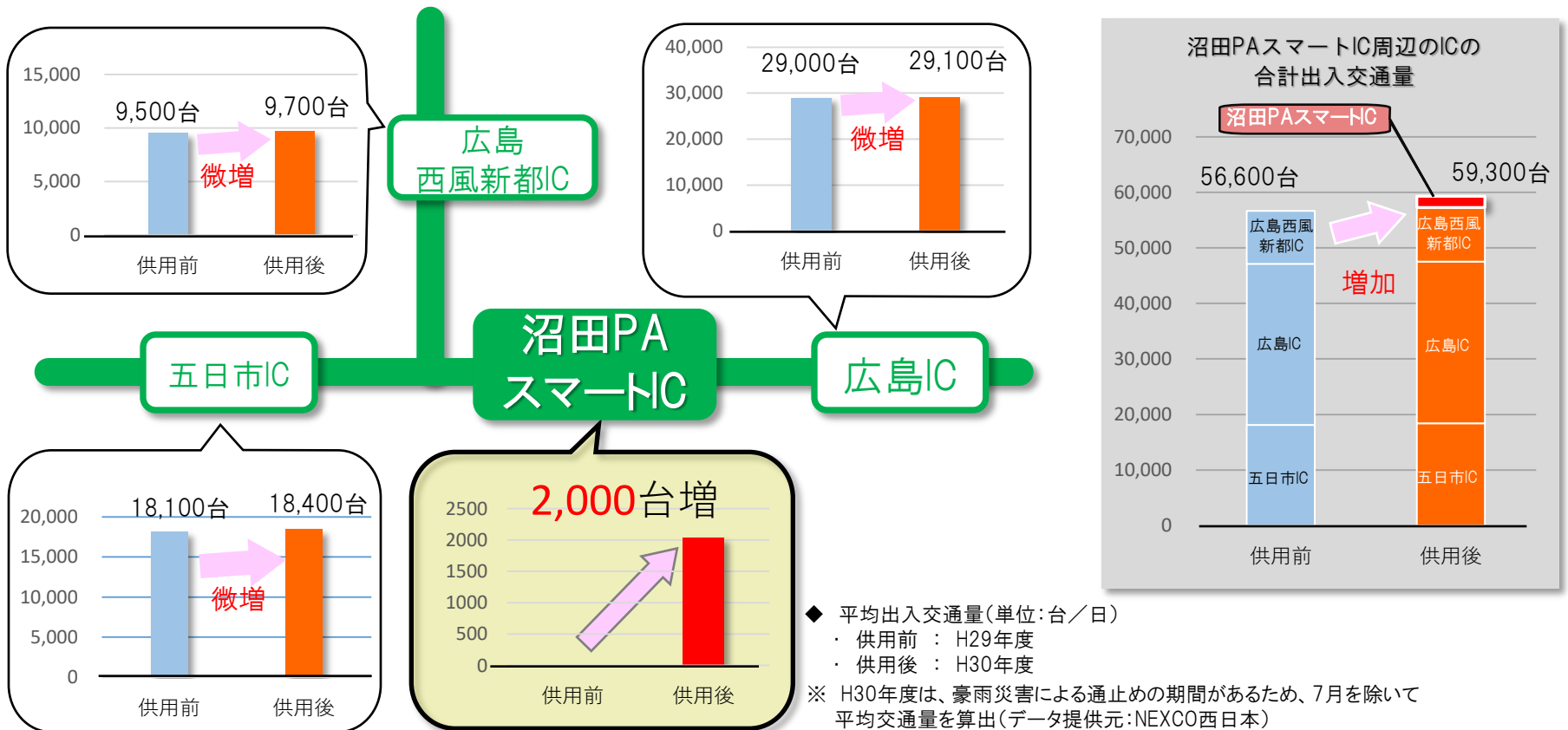
3 安全安心の確保

4 ひろしま西風新都の都市づくりの推進

整備効果

1 利便性の向上（高速道路の利用促進）

- ◆ 高速道路の利便性が向上し、沼田PAスマートICだけでなく周辺IC（五日市IC、広島西風新都IC、広島IC）も含め、**利用者の増加傾向**が見られ、高速道路の利用促進に寄与



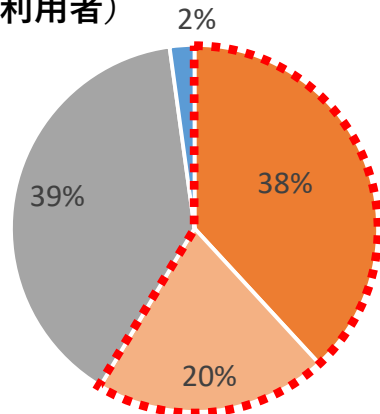
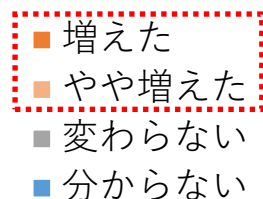
- ◆ 平均出入交通量(単位:台/日)
 - ・ 供用前 : H29年度
 - ・ 供用後 : H30年度
- ※ H30年度は、豪雨災害による通止めの期間があるため、7月を除いて平均交通量を算出(データ提供元:NEXCO西日本)
- ※ 端数処理の都合上、各ICの出入交通量と合計の出入交通量は一致しない

整備効果

1 利便性の向上（高速道路の利用促進）

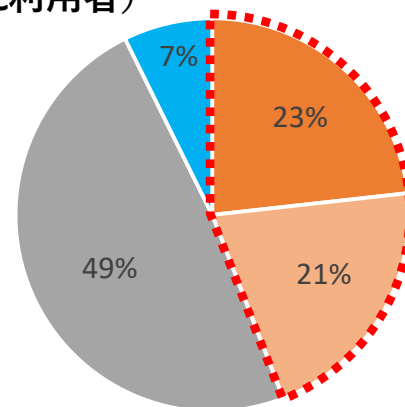
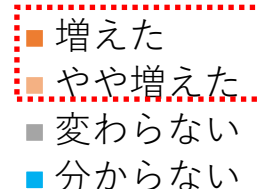
- ◆ 高速道路の利便性が向上し、沼田PAスマートICの平日利用者の**約6割**、休日利用者の**約4割**が高速道路の利用頻度が増加したと回答しており、高速道路の利用促進に寄与（H30年アンケート調査※より）

高速道路の利用頻度の増加
（平日の沼田PAスマートIC利用者）



H30年アンケート調査より
（有効回答数：367票）

高速道路の利用頻度の増加
（休日の沼田PAスマートIC利用者）



H30年アンケート調査より
（有効回答数：383票）

（参考）

※ 平成30年に広島市が実施したアンケート調査の概要

- 調査目的

沼田PAスマートICの利用状況を把握するため

- アンケート調査票の配布方法と回収方法

【配布方法】 沼田PAスマートICの利用者に手渡しで配布

【回収方法】 郵送で回収

- 調査日時

【平日】平成30年11月15日（木）7:00～19:00

【休日】平成30年11月18日（日）7:00～19:00

- アンケート調査票の配布票数と回収票数

【平日】配布票数：1,262票 回収票数：374票（29.6%）

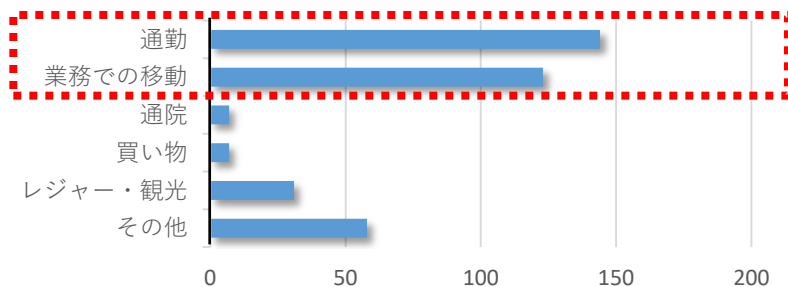
【休日】配布票数：1,380票 回収票数：386票（28.0%）

整備効果

1 利便性の向上（日常的な利用）

- ◆ 平日の沼田PAスマートICの利用目的は、通勤、業務での移動といったものが多く、**日常的な利便性の向上**に寄与（平成30年アンケート調査より）

平日の沼田PAスマートIC利用目的



H30年アンケート調査より
(有効回答数：370票)



沼田PAスマートIC
が開通してから、パパの
帰宅時間が早くなったので
うれしい。

H30年アンケート調査より



沼田PAスマートICが
開通してから、通勤で
使用しています。
とても便利です。

H30年アンケート調査より

沼田PAスマートICが開通
して、通勤時間が短くなった
うえに、現道の渋滞に巻き込
まれなくなりとても便利にな
りました。



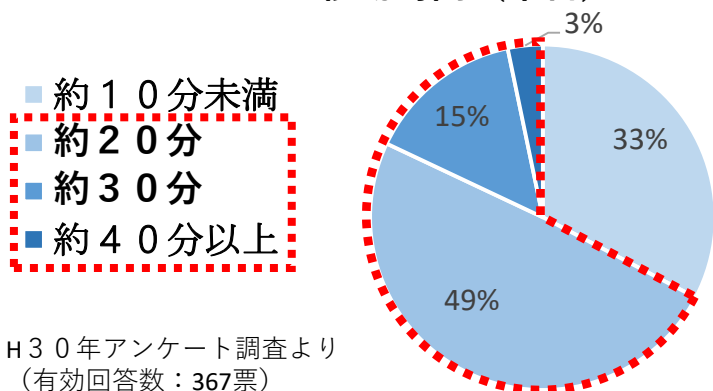
H30年アンケート調査より

整備効果

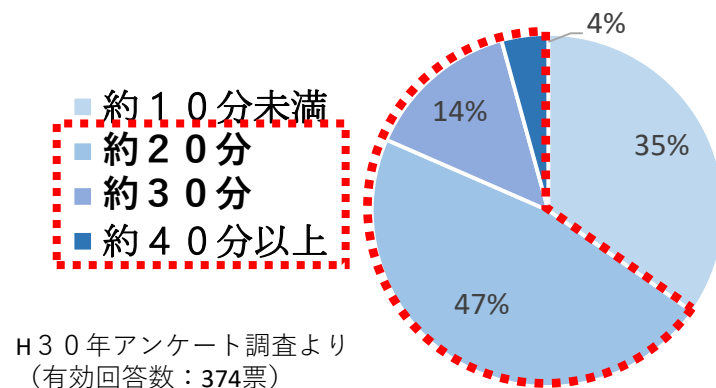
1 利便性の向上（移動時間の短縮）

- ◆ 高速道路の利便性が向上し、平日・休日ともに沼田PAスマートICの利用者の**約7割が20分以上**の時間短縮を実感と回答（平成30年アンケート調査より）

スマートIC整備前と比較して短縮した移動時間（平日）



スマートIC整備前と比較して短縮した移動時間（休日）



沼田PAスマートICが開通してから、以前と比べて20分の時間短縮ができた。朝の時間帯は授業に間に合い助かる。



H30年アンケート調査より

沼田PAスマートICが開通してから、県道の渋滞を回避できるようになり、短時間でお店に行けるようになりました。

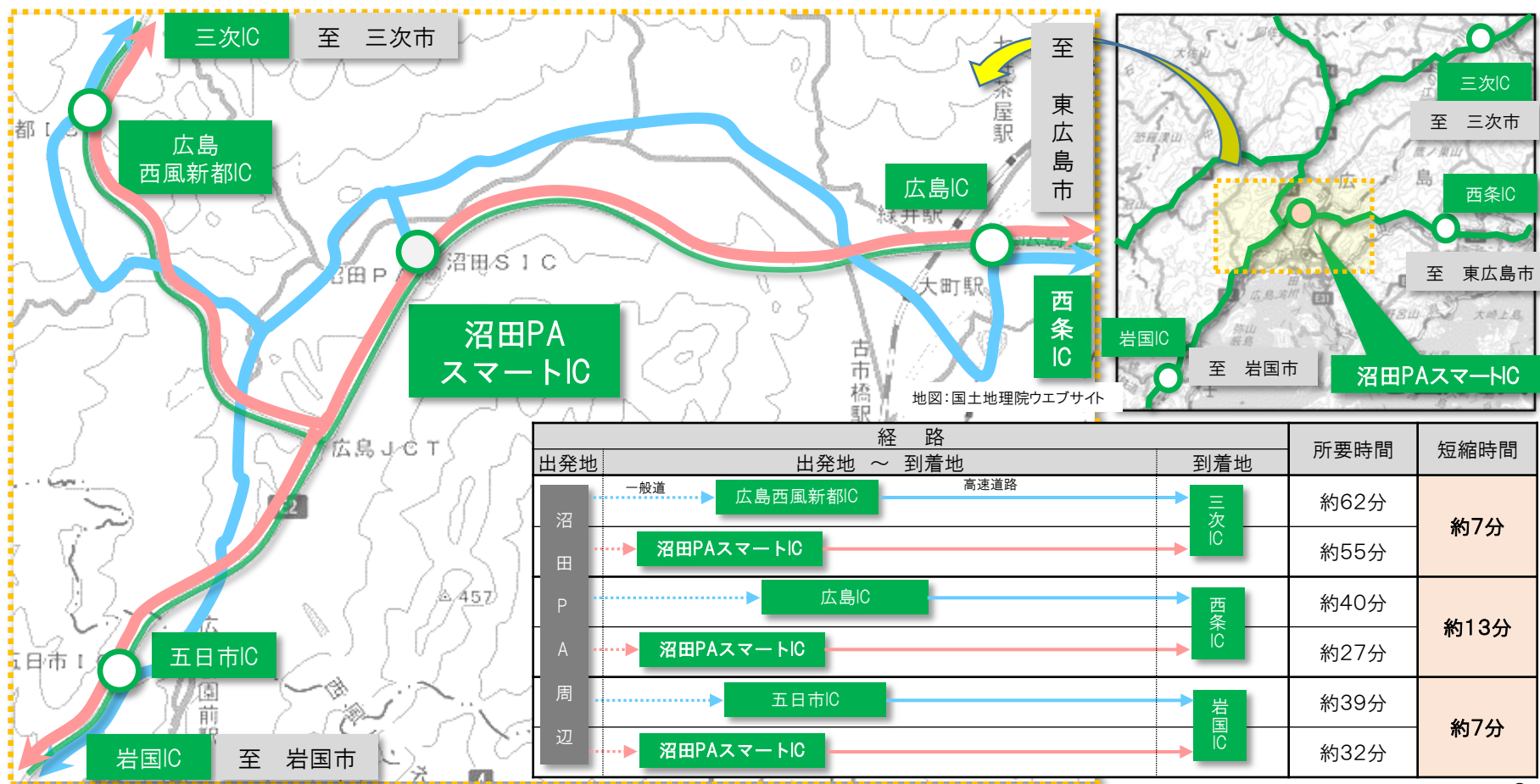


H30年アンケート調査より

整備効果

1 利便性の向上（広域へのアクセス時間短縮）

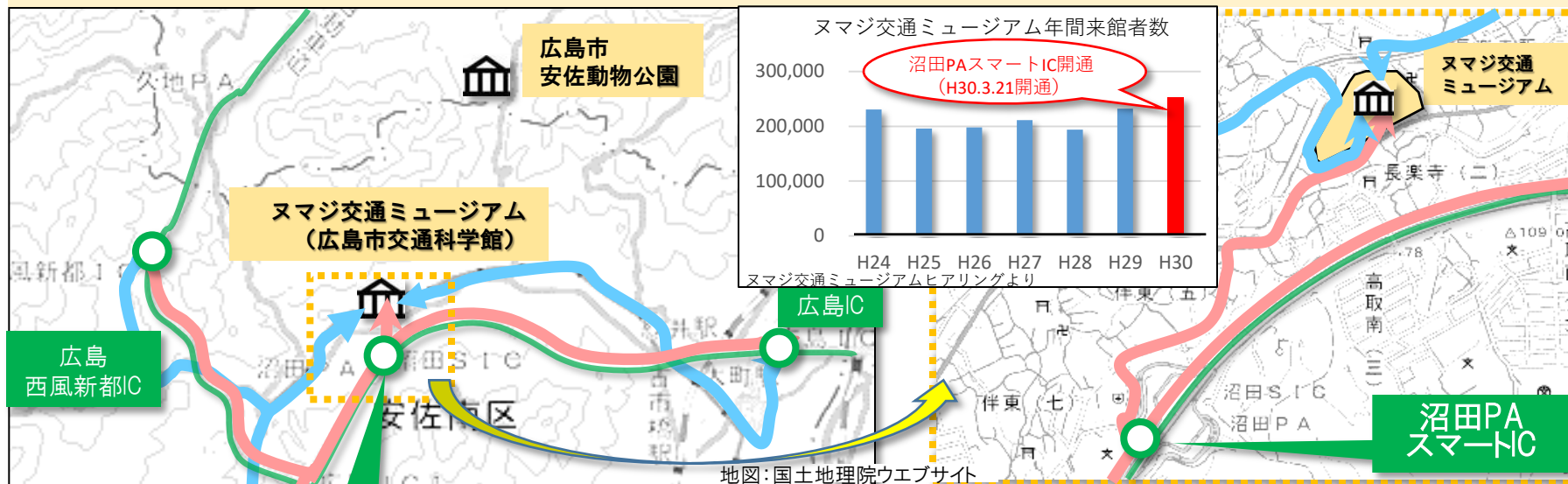
◆ 沼田PAスマートIC周辺から**周辺都市へのアクセス時間が短縮**し、**地域住民の利便性の向上**に寄与



整備効果

2 地域の活性化

◆ 沼田PAスマートIC周辺の**観光施設へのアクセス時間が短縮し、観光振興に寄与**



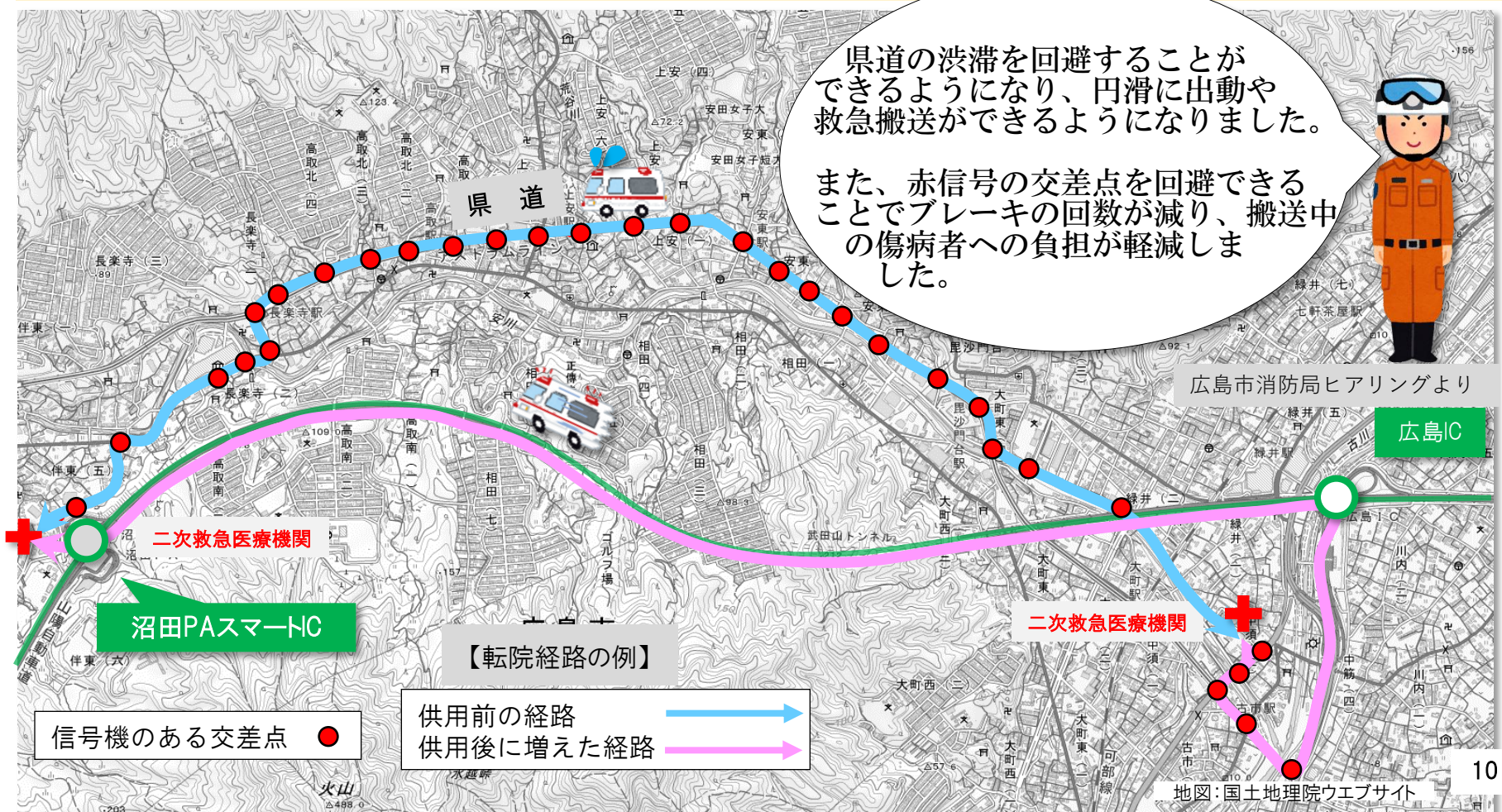
| 出発地 | 経路 | | 到着地 | 所要時間 | 短縮時間 |
|------------|----------|-------|------------|------|------|
| | 出発地 | ～ 到着地 | | | |
| 広島IC周辺 | 一般道 | | 沼田PAスマートIC | 約16分 | 約5分 |
| | 広島IC | 高速道路 | | 約11分 | |
| 広島西風新都IC周辺 | 一般道 | | 沼田PAスマートIC | 約15分 | 約3分 |
| | 広島西風新都IC | 高速道路 | | 約12分 | |
| 五日市IC周辺 | 一般道 | | 沼田PAスマートIC | 約15分 | 約4分 |
| | 五日市IC | 高速道路 | | 約11分 | |

令和元年5月12日(水)に測定

整備効果

3 安全・安心の確保

- ◆ 消防車などの出動経路や救急車の搬送経路の選択肢が増加したことにより、消防・救急活動の円滑化に寄与



整備効果

4 ひろしま西風新都の都市づくりの推進

◆ 地域住民だけでなく、沼田PAスマートICも位置する「ひろしま西風新都※」の居住者からも高評価を得ており、西風新都のさらなる魅力の向上に寄与

- ・沼田PAスマートICができるということで、ひろしま西風新都に引越しする決断をしました。とても便利です。
- ・五日市IC周辺はすごく渋滞してイライラしていたのが解消されました。
- ・広島IC周辺の渋滞を回避できました。
- ・通勤時間が10分～20分短縮しました。渋滞等による影響がなくなり、とても便利になっております。
- ・沼田PAスマートICのおかげでストレスなく帰省できるようになりました。大活躍です。
- ・家から近いところにICができて、とても助かっています。安全運転で有難く利用します。

ひろしま西風新都居住者の主な意見（H30年アンケート調査）



※ひろしま西風新都とは、広島市の中心部から北西約5～10kmの位置に広がる丘陵地約4.57haのこと。
地域住民、民間開発事業者及び広島市が適切な役割分担と協力関係のもとに、一丸となって都市づくりに取り組んでいる。

今後の利用促進の取組

- ◆ スマートICの接続道路の交差点改良を行い、一般道からのアクセス改善を図り、スマートICの利便性の向上を図る
- ◆ 周辺の観光施設や企業、また、地域住民等へのPR活動を行い、スマートICの認知度を高め、利便性を実感してもらい利用促進を目指す

